

12/9

津幡町特別功労スポーツ賞

## 金城梨紗子選手 7回目の受賞



アルバニアで10月に開催されたレスリングの非オリンピック階級世界選手権女子59kg級で優勝した金城梨紗子選手（緑が丘出身）に津幡町特別功労スポーツ賞が授与され、その贈呈式が12月9日に町役場で行われました。母としての世界選手権優勝は、日本レスリング界では初の快挙となります。

矢田町長が「サンライフ津幡で活動するレスリングクラブSUN KIDS WRESTLINGで後継者も育ちつつあるので、指導にも来てほしい。いつまでも元気で頑張ってください」と激励すると、金城選手は「今までの3回の優勝とは違った重みや大変さがあったが、子どもと一緒に楽しく頑張れたことを幸せに思うし、結果を津幡町のみなさんに喜んでもらったことも励みになる。来年も選手として活動するが、未来ある子どもたちに経験を伝えたり、レスリングを広めていくことも役目だと思う」と次世代も見据えた思いを述べました。

自身が特別コーチを務めるSUN KIDS WRESTLINGの子どもたちについては「思い切りがよい」と評価し、同席した金城選手の母親でクラブ代表の川井初江さんも「成長が早く、再来年くらいに全国大会に連れていければ」と期待を寄せていました。



このコーナーでは、町のニュースや地域のイベントなど、町の話をお伝えしていきます。

## 広報つばた

1

### CONTENTS

- 02 新年のあいさつ
- 03 津幡町10大ニュース
- 04 まちのNEWS!
- 07 町スポーツ協会 設立10周年記念式典
- 08 暮らしの情報
- 18 人事行政
- 19 友だちリレー、Cook Do どう？
- 20 図書館へおいでよ
- 21 つばた空港、こども科学館
- 22 ケーブルテレビ番組表
- 23 赤ひげ通信、文芸
- 24 手話、フィットネス、QUIZ
- 25 慶弔だより
- 27 こどもの広場
- 29 ごみ収集ごよみ、休日当番医ほか
- 31 イベントカレンダー

### 今月の表紙



### 「鏡もち作り(ガラス細工)」体験

今月の表紙は、12月7日にエコみらい河北で行われた「鏡もち作り(ガラス細工)」体験教室です。透明なものや白いガラスが入ったもの、泡が入ったものなどから好きなデザインを選びます。

ガラス工芸作家の中野雄次さん、西あゆみさんの指導のもと、熔解炉で1330℃に溶かしたガラスを保温しながら加工していきます。参加者は真剣にガラスの形を整え、体験後には「回しながら作るのが楽しかった」、「難しいけど楽しい」といった感想が聞かれました。

エコみらい河北では、さまざまな体験教室を随時開催しています。ご家族やお友達と一緒に、世界に一つの作品を作ってみてはいかがでしょうか。(内田)



12/2

## 約12,000個のLEDによる装飾 イルミネーション 点灯

今年で19回目となるイルミネーションが津幡中央公園で12月2日に点灯を開始しました。

今年は、高さ約7メートルのクリスマスツリー3本を30人ほどのこびとたちが楽しそうに眺めている様子を演出しました。ツリーの周りにはネット型のイルミネーションも配置され、華やかな装飾となっています。約12,000個のLED電球が織りなす幻想的な光景が、シグナス通りを鮮やかに彩ります。

道行く人は足を止め、色とりどりの光を楽しそうに眺めたり、写真を撮影したりしていました。

このイルミネーションは、1月31日までの期間中、毎日17時から21時まで点灯しています。



12/1

## あい・らぶ・つばた 津幡ふるさと検定

津幡ふるさと検定が12月1日に町役場で行われ、町内外から17人が受験しました。

この検定は、町への愛着を深めるとともに、児童生徒の「ふるさと教育」や観光ボランティアガイドの人材発掘・育成に繋げることを目的に企画されており、今回で17回目を迎えます。

難易度別に、初級編・中級編・上級編に分かれており、津幡町に関する歴史や文化、自然、産業など幅広い分野から出題され、50問中40問以上の正解で合格となります。

合格者には合格証と町大河ドラマ誘致推進キャラクターのストラップが贈られました。

12/9

## おめでとうございます! 島木美智子さん 百寿

12月9日に100歳の誕生日を迎えた島木美智子さん(井上の荘)のもとを12日に山本健康福祉部長が訪れ、長寿を祝福するとともに、記念品を進呈しました。

ご家族が見守る中でお祝いの言葉を受けられた島木さんは感謝の言葉を伝え、笑顔で祝福を受けられました。

島木さんは、花が好きで鉢植えでお花を育てていたほか、書道が趣味で仮名文字の作品をよく書いていたそうです。昔から免疫力が高いことが元気の秘訣だにご家族の方はお話ししてくださいました。

これからもお元気でお過ごしください。



12/1

## シグナス・ウインド・オーケストラ 被災地に思いを寄せて

津幡町に縁があるメンバーで構成される吹奏楽団「シグナス・ウインド・オーケストラ」による第12回定期演奏会が12月1日にシグナスで開催され、約650人が来場しました。

今回は令和6年能登半島地震のチャリティーコンサートとして行われ、津幡町出身でホルン奏者の川夕季さんや町合唱サークル「コールあじさい」と共演しました。オリンピックファンファーレで幕を開けた後、クラシックや唱歌、映画音楽、ポップスなど幅広いジャンルの曲が披露されました。アンコールでは、来場者の手拍子を添えて県民歌「石川県民の歌」を全員で披露し、被災地に思いを馳せました。



12/7 科学のまち・つばた 科学の祭典  
**科学の魅力に触れる**

「科学のまち・つばた 科学の祭典」が12月7日にシグナスで開催され、約1,500人が来場しました。

このイベントは、科学の楽しさやおもしろさ、不思議さなどの「科学の魅力」を大人から子どもまで体験してもらう機会として、毎年開催されています。

ホールでは「科学のお姉さん」の五十嵐美樹さんによるサイエンスショーが行われ、石川県住みます芸人のぶんぶんボウルと一緒に風船やブラックライトを使った実験を行い、会場を大いに沸かせました。

こども科学館では、津幡町出身のよしもと芸人テンプレートカントリーが小林館長と一緒に、科学館の人気作品を紹介したり、スライムを作ったりしました。

また、手回し発電でモーターカーを走らせる体験やペーパークロマトグラフィーを用いたお花づくりも人気を集めました。

このイベントの様子は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で1月16日から放送予定です。



12/15 今年のお笑い納め!!  
**つばたお笑いフェス**

つばたお笑いフェスが12月15日にシグナスで開催され、約800人が来場しました。

フェスは2部構成で、第1部では津幡おきらくごの会による落語や石川県住みます芸人のぶんぶんボウルのラジオ公開収録が行われました。

第2部には、かけおち、オダウエダ、バンビーノ、レギュラーといったよしもとの実力派芸人が出演し、軽妙なライブで観客を笑いの渦に引き込みました。

最後に行われた芸人と来場者とのじゃんけん大会では、子どもからお年寄りまで大勢の人が参加し、満席の会場は大盛り上がり。勝ち残った人にはサイン色紙がプレゼントされました。



12/14 人権啓発講演会「災害とこころのケア」  
**ストレスの緩和が大切**

人権啓発講演会「災害とこころのケア」が12月14日にシグナスで開催され、約40人が参加しました。

石川県こころの健康センター所長の角田雅彦さんを講師に迎え、災害時のストレスに対する早期発見やセルフケア、メンタルヘルスの重要性などについて説明がありました。

講演では、ストレスによって現れる心身の不調「ストレス反応」を緩和するケアが重要なことが紹介されました。さらに、周囲の人ができる支援として、異変に気づいて声をかけることや、傾聴を継続すること、専門機関へつなぐことなどがあげられ、参加者は熱心に耳を傾けていました。